

【基本施策4】 区民が主体的に参画し、コミュニティ形成につながる地域スポーツ環境の整備

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
25	【重点事業】総合型地域スポーツクラブの設立		
事業概要	多世代・多種目・多志向の特徴をもった、地域住民による自主的、主体的に運営されるスポーツクラブを全地区設立する。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	<ul style="list-style-type: none"> 各体育館で、職員に対して総合型地域スポーツクラブについての研修等を実施し、総合型地域スポーツクラブについての理解を深めた。 総合型地域スポーツクラブの指導者養成に向け、指導者養成スポーツ講座を実施し、地域住民やスポーツ推進員とコミュニケーションを図り、総合型地域スポーツクラブの設立に向けて具体的な案を模索した体育館や、地区に総合型地域スポーツクラブを設立した場合における指定管理者としての支援体制を本部と協議した体育館があった。 スポーツ推進委員協議会及び推進管理者の協力により総合型地域スポーツクラブモデル事業全地区展開検討部会を延べ6回開催し、報告をとりまとめた。 		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 計画期間内の全地区設立を目標にして、総合型地域スポーツクラブモデル事業全地区展開検討部会を延べ6回開催し、次期設置地区等について検討した。 		
課題など	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブの設立に当たっては、活動の場の確保、人材・スタッフの確保、設立に係る資金の確保等の課題がある。これらの課題については、今後設立する準備委員会等で検討を進めていく。 		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
26	モデル事業に対する支援		
事業概要	スポルテ目黒の活動を区のモデル事業として、活動の場の提供、その他を通じてその活動を支援する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (28年度末現在)	B: 計画目標を達成した
28年度実績等	<ul style="list-style-type: none"> ①日常活動の場の提供 碑文谷体育館・庭球場・野球場、南部地区プール、五本木小学校体育館、中央地区プール、鷹番小学校体育館 ②クラブハウスの提供 ③HP活動支援、クラブ運営への助言指導 ④会員数の拡大 991人 ⑤各体育館において、スポルテ目黒のチラシ、案内設置など、活動の支援を行った。 		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 継続して場の提供、活動支援等を行った結果スポーツ機会の拡大が図られ、延べ参加人数、会員数とも順調に増加している。 		
課題など	<ul style="list-style-type: none"> 利用者及び会員増に伴う実施スペースの確保、きめ細かいアプローチや指導フォローなどの満足度が低下していく懸念がある。また、人材の確保についても課題であり、支援のあり方については引き続き検討していく。 		

		所属名	生涯学習課
事業No.	事業名		
27	申請社会教育学級の実施		
事業概要	区内の社会教育関係団体が行う自主的かつ系統的学習について、団体の申請に基づき、申請社会教育学級に指導者を派遣し、団体が行う社会教育活動の発展を図る。結成後5年未満の団体と教育委員会が定める課題について学習する団体の学習計画に基づき、1学級について6回を限度として指導者を派遣する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (28年度末現在)	C:計画目標を一部達成した
28年度実績等	結成後5年未満の団体18団体(延べ参加者2,864人)、課題学習団体2団体(延べ参加者298人)に指導者を派遣した。(内スポーツ団体は1団体)		
評価の理由	申請団体数が年々減少している。		
課題など	より多くの団体に申請していただけるよう、さらなる広報が必要である。		

		所属名	生涯学習課
事業No.	事業名		
28	社会教育館まつりの実施		
事業概要	団体の学習成果の発表の場、団体間の交流・親睦の場、地域との交流の場として実施する。利用団体が1年間の学習の成果を展示・発表する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・東山社会教育館(33団体参加。内スポーツ団体は4団体) ・中央町社会教育館(41団体参加。内スポーツ団体は8団体) ・目黒本町社会教育館(29団体参加。内スポーツ団体は5団体) ・緑が丘文化会館(37団体参加。内スポーツ団体は7団体) ・青少年プラザ(27団体参加。内スポーツ団体は5団体) 		
評価の理由	社会教育館を利用する団体は、館まつりを日頃の学習成果を広く地域に発表できる目標として活動しており、地域の区民も毎年楽しみにしている。地域の区民が参加し、コミュニティ形成につながるお祭りとして評価できる。		
課題など	企画・運営は実行委員会が中心となって行っているが、新たに委員となる人材を増やすことが課題である。		

		所属名	オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
29	【重点事業】めぐろ10kmマラソン(仮称)大会の実施		
事業概要	「めぐろ桜健康マラソン」を発展・充実させることにより、区内の観光と産業の活性化など地域活力の向上を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成と区民の健康増進を目的にマラソン大会を実施する。実施にあたり、関係団体等による組織委員会を設立し、企画・運営を行う。		
計画目標	新規	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	大会名称を公募により「目黒シティラン～健康マラソン大会～」として、平成28年11月27日(日)に開催した。 種目:10kmの部 2.5kmミニマラソン(車椅子の部、小学生の部、中学生以上の部、親子ペアの部) 1kmウォーキング		
評価の理由	目黒シティラン開催当日は、ランナー・ボランティア・沿道の応援含め、6千名を超える人が参加した。多くの方々が区内で過ごしたことで、観光等も含めた地域の活性化及びランナーの健康増進、ボランティア活動の推進等、様々な分野でのきっかけ創りを果たすことができた。また、大会が事故なく運営できたことや定員を満了した参加者数があり、実際に走ったランナーからも高い評価を得た。		
課題など	交通規制に伴う、一般生活者への道路横断等への影響が大きかった。 参加者が目黒区に滞留する方法や沿道により多くの応援者で満たす工夫等が必要である。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
30	体育祭の充実		
事業概要	広く区民に総合的なスポーツの機会を提供するとともに健康維持増進及びスポーツを通じたコミュニティの形成に寄与することを目的に目黒区体育祭を実施する。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	38競技大会を(春・秋・冬)開催し、広く区民のスポーツの推進と健康維持増進を図った。 <春季大会>・種目:34種 ・延べ日数:98日 ・参加者数:9,992人 <秋季・冬期大会>・種目:36種 ・延べ日数:106日 ・参加者数:10,082人		
評価の理由	競技大会の種目が増え、区民が体育祭に参加する機会を拡大することができた。		
課題など	体育施設の老朽化が進んでおり、大会を実施するうえで設備の改善が必要となる。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
31	実行委員会等、多様な区民や団体の主体的な関わりによるスポーツ事業の実施		
事業概要	スポーツ・レクリエーション事業(めぐろスポーツまつり、ウォーキング事業、ラジオ体操、スポーツ広場等)の実施にあたり、実行委員会等、多様な区民が参画できるよう配慮し、関係団体との連携・強化を図る。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	①第16回めぐろスポーツまつり 延べ 2,831人 ②ウォーキング事業 ・めぐろウォーキング塾:延べ 9回、延べ 303人 ・將軍お鷹狩りウォーク 401人 ③ラジオ体操 ・ラジオ体操講習会 1回 37人 ④地区スポーツ大会 ・5地区 683人 ⑤ドッジボール大会 延べ 552人		
評価の理由	・体育の日に、めぐろ区民を対象とした、めぐろスポーツまつりを毎年開催している。子どもから高齢者まで誰もが簡単に参加できるイベントとなっており、毎年多くの参加者を得ている。		
課題など	・誰でも気軽に参加してもらうため、ニュースポーツを中心とした種目を選定している。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成と競技に親んでもらうため、東京2020オリンピック・パラリンピックの種目のアトラクションを実施すると共に、参加者に体験してもらっている。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
32	スポーツ・レクリエーション活動における指導者の発掘・育成		
事業概要	区民のスポーツ・レクリエーション活動をより効果的・円滑に推進するために、指導者育成事業を実施する。 ①スポーツ指導者育成事業 ・スポーツ推進委員研修会 ・指導者養成講習会(スポーツセミナー) ・障がい者スポーツ指導員養成研修 (公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認) ・水上安全法救助員養成講習会 ②スポーツボランティアの発掘と育成 区立体育施設などでボランティア活動を促し、活動が定着するよう育成を図る。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	区民のスポーツ・レクリエーション活動をより効果的・円滑に推進するために、指導者育成事業を実施した。 ①全体研修会 7月 大田区スマイルかまた、田園調布グリーンコミュニティ視察 ②障がい者スポーツ指導員(初級)養成講習会 実施日数 10日、受講者数 27人 ③日本赤十字水上安全法基礎講習会 実施日数 5日 受講者数 23人 ④スポーツセミナー 実施日数 4日 受講者数 98人		
評価の理由	毎年スポーツ推進委員を対象とした全体研修会や障がい者スポーツ指導員(初級)講習会、水上安全法基礎講習会を実施。また、26年度まで休止となっていたスポーツセミナーを27年度から再開。スポーツの指導者を対象に実施し、さまざまなスポーツ指導に役立てる内容で行った。		
課題など	・スポーツボランティアについては、登録者が少ない状況であり、また有効に活用ができていない状況であるため、障がい者スポーツ指導員養成講習会等の修了者及び指定管理者への周知等について、検討していく必要がある。		

		所属名	文化・交流課
事業No.	事業名		
33	阿武隈リバーサイドマラソン大会への参加		
事業概要	マラソン大会に区民が参加することで、友好都市の角田市を知ってもらい友好交流関係の推進を図るとともに、区民のスポーツ活動の促進及び健康増進を図る。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	参加者:8組13名(男性9名、女性4名) 内容:阿武隈リバーサイドマラソンへの参加だけでなく、角田市郷土資料館の見学や、仙南シンケンファクトリーでのイベントに参加するなど、角田市の魅力を存分に味わえる内容となり、友好交流関係の推進を図ることができた。 (実施方法:事業者に参加募集とツアーの取りまとめ及び目黒区と角田市間の往復移動バス借上げを委託)		
評価の理由	ツアー終了後に行ったアンケートでは、参加者全員が満足あるいは大変満足を選択してくれたことから、参加者の方々に非常に好評であり、ツアーは成果があったと思われる。		
課題など	参加者から「もっと角田市のことが知りたくなった」との声もあり、今後は観光施設への案内だけでなく、地域の人との体験型の交流などの企画も提案したいと考える。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
34	利用者懇談会の実施		
事業概要	利用者等の意見・要望を把握し、区民サービスの向上を図るため実施する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	駒場体育館 ・年1回実施 区民センター体育館 ・事業別 5回 碑文谷体育館 ・利用者懇談会(一般公開まつり参加者)1回実施、(教室・講習会健康運動教室、はじめてのピラティス参加者)1回実施した。 中央体育館 ・新規教室 5教室、一般公開 5種目についてそれぞれ実施した。 八雲体育館 ・年1回実施 砧球技場 ・年1回実施		
評価の理由	・一般公開、教室事業等の利用者を対象に、各体育館が懇談会を実施し、利用者からの意見・要望を取り込むことで、利用者数の拡大につなげるとともに、今後の課題について整理し、職員間で共有している。		
課題など	・利用者懇談会で出された意見・要望について、全てのものが対応可能ではないが、今後の課題として検討していく必要がある。		

所属名	文化・交流課、スポーツ振興課
-----	----------------

事業No.	事業名		
35	区関係部局と連携した事業の実施		
事業概要	まちづくりや青少年健全育成など、相乗効果を得られるように配慮するため、区関係部局と連携したスポーツ事業を実施する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (28年度末現在)	B 計画目標を達成した
28年度実績等	<p>①オリンピック・パラリンピック大会記念パネル展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第40回目黒区民まつり(文化・交流課) ・第12回MIFA国際交流フェスティバル(目黒区国際交流協会) <p>②指定管理者事業(区立体育施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駒場体育館 : みんなでダンス(障害者施設あゆみ園、えのき園) ・区民センター体育館 : 目黒区商工まつり「目黒リバーサイドフェスティバル」(産業経済・消費生活課)にて骨密度測定、足型測定を実施(測定者数:463人)、目黒シティランに向けたランニングクリニック開催(6事業:145人) ・碑文谷体育館 : 交流機会事業でスポルテ目黒、碑文谷公園くらぶ、目黒区体指・スポ進OB会、住区住民会議等、地域団体の協力を得て実施。区内情緒障害通級学級と連携を図り、障害者対象のスポーツ教室を実施。 ・中央体育館 : スポーツ広場 住区住民会議・スポーツ推進委員の協力により実施 ・八雲体育館 : ほたる祭りや敬老の日イベントで地域で構成する実行委員会、西部包括支援センターの協力により実施。 ・砧野球場・砧サッカー場 : ふれあいスポーツ教室、ふれあいスポーツ広場。実施予定だったが台風により中止(区内障害者施設主催) <p>②指定管理者事業(目黒区国際交流協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民がスポーツを楽しみながら日本人と交流する。 合気道体験(年2回実施) 参加人数:計12人 弓道実射体験(年2回実施) 参加人数:計72人 		
評価の理由	<p>①区民まつりやMIFA国際交流フェスティバルにおいてのパネル展を通して、2020年の東京オリンピックに向けた、オリンピックやスポーツへの意識を高めることができ、成果があったと思われる。</p> <p>②地域における区関係部局との関係性を密にして各体育館で事業を実施していることにより、相互理解が深まり、各体育館が地域の構成員としての役割も果たしている。</p>		
課題など	<p>①2020年にむけて、今まで以上に区民がオリンピックに対しての知識や意識を高めるための機会が必要になると思われる。区民まつりやMIFA国際交流フェスティバルだけでなく、他部局や地域の方々と協力しながら事業を展開していきたいと考える。</p> <p>②地域との関係性を増し、より地域と一体となった体育館の運営をしていくため、区関係部局のみならず、新たな地域団体との連携を開拓していく必要がある。</p>		